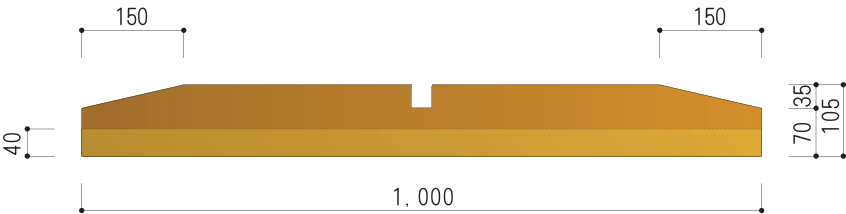





製作手順	写真等
<p>次に各々の部材を留める金物類の準備です。</p> <p>①L字金具 65 [mm] @43円</p> <p>②T字金具 68 [mm] @23円</p> <p>③折れ金具 @18円</p> <p>④木工用ポンド 180ml @185円</p> <p>⑤木工ビス (100本入) L=25 [mm] @260円</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>※参考</p>  <p>※コースレッド (今回、使用したもの)</p> </div> </div>
<p>使用する工具は、手順を説明しながら紹介しますが、まずは支持部（斜めの支えになる補強材）をスライド丸ノコで45度の角度で切ります。長さの目安は長い部分が400mmになる程度です。工作室のあるDIYショップで借りれますが、無い場合は、ノコギリで切ります、</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

製作手順	写真等
<p>次は、土に当たる部分の加工ですが、右図のように両脇を斜めにカットします。カットは、電動丸ノコだと綺麗且つ早く出来ます。</p> <p>電動丸ノコは、前述のDIYショップの工作室で借りることが出来ます。</p> <p>また、柄の部分を守る箇所として中央部も切り取りますが、柄を当てて鉛筆で墨をつけ、墨を残して切り取ると大き過ぎないサイズで切り取れます。多少小さくても、木は収縮しますので綺麗に収まります。この加工もノコギリで可能です。</p>	 
<p>そして、土に当たる部分は、テーパ状に削り、使用し易いように加工します。</p> <p>こちらもDIYショップで電動カンナが借りれますので、仕上げも含めてカンナがけします。</p> <p>※柄の部分も含めて、仕上げの4面カンナをかけた場合、角が鋭角になりケガをする恐れがありますので、必ずカンナで『面取り』を行って下さい。こちらも、DIYショップの工作室で借りれます。</p>	 

製作手順	写真等
<p>加工が終わった各々の部材を金物で接合しますが、その前にT字金物1個と、折れ金物を万力で折り曲げます。</p> <p>折り曲げたT字金物は、柄の部分と土に当たる部分の裏側に使います。折れ空物は、支持部と土に当たる部分の接合に使います。</p> <p>各々の木が当たる面は、木工用ボンドで接着します。木工用ボンドは水溶性なので、はみ出た分は、濡れ雑巾で拭き取れますので、ケチらずにたっぷり付けて下さい。</p> <p>そして、インパクトドライバでビスで留めますが、木工ビス以外は、木が割れる可能性がありますので、予めドリルで穴を開けたほうが良いです。その手間を省くために、木工ビスの使用を勧めます。</p>	     

製作手順	写真等
<p>これで完成です。 木製レーキ（トンボ）は『安価で軽量』が最大のメリットです。耐久性については大きな期待は出来ませんが、雨ざらしの屋外保管で2～3年でダメになると思って下さい。これは、木部の耐久性もありますが、ビスの耐久性も影響します。但し、倉庫や部室等での屋内保管であれば、耐久性はグッと上がって来ますので、可能であれば室内保管をオススメします。</p> <p>材料費は700円／台程度で済みます。</p> <p>一度やってみると、簡単に出来ますので、心配は無用です。</p>	
<p>※九州圏内であれば『ハンズマン』というDIYショップがあります。 （福岡県＝2店舗、大分県＝1店舗、熊本県＝2店舗、宮崎県＝4店舗、鹿児島県＝2店舗） こちらには『工作室』がありますので、サービスカウンターで申し出れば、無償で借りる事が出来、工具も揃っています。 また、ご自身で作業することを希望しない場合、こちらの店舗では有償で、加工してくれますので、利用してみるのもいいでしょう。</p> <p>工具使用の際は、くれぐれも事故、怪我のないよう充分気をつけましょう！</p>	

